

前橋の詩人

豚

豚の奴らにとって逃亡は正義だ

真下章

梁瀬和男

私は血管をさまよう細菌にすぎない

回顧展

1926.12.24—2018.6.25

抒情詩から社会的な詩風へと変化するとともに、
群馬の先達詩人に関する評論活動にも取り組む。

颯爽と自転車をこぐ姿
詩友たちは印象に留めている。

1929.3.7—2019.2.13

勢多郡粕川村で養豚農家を営みながら、
養豚の日常や豚の視線から詩作を行い、

1988年に詩集『神サマの夜』でH氏賞を受賞。
木版画や書にも秀でる。

2022
1.30(日) - 2.13(日)
前橋文学館3階ギャラリー
観覧無料

主催 真下章・梁瀬和男回顧展を開催する会
共催 前橋文学館
協力 芽部、萩原朔太郎研究会、
前橋文学館友の会、群馬詩人クラブ
後援 上毛新聞社



萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち

前橋文学館

〒371-0022 群馬県前橋市千代田町三丁目12-10
TEL. 027-235-8011 FAX. 027-235-8512
<https://www.maebashibungakukan.jp/>



豚と自転車 真下章・梁瀬和男の
人と作品 朗読と講演会

2022年1月30日(日) 14:30-16:30 前橋文学館3階ホール

講演 川島完
所感 堤美代、藤井浩
朗読 萩原朔美館長、須田芳枝、関口将夫、関根由美子、
薄月みどり、風便り、kuku、上月える、水科小百合
観覧 無料(定員30名)
観覧予約はメールで受付します【ryutoarai1@outlook.jp】

※観覧の際、マスク着用をお願いします。